

東 松 島 市 （ 仮設住宅戸数:1,753戸 民間借り上げ住宅申請件数:1,345件 ）									
		訪問支援員	生活支援相談員	事務員	サロン活動スタッフ	看護職員	復興まちづくり推進員	地域復興推進員	復興応援隊
委託元(担当課)							宮城大学	東松島市(党書)	宮城県地域復興支援課
予算		市委託金 (地域支え合い体制づくり事業)					三井物産環境基金	JICA	総務省 (復興活動支援事業)
人数		28名	6名	6名	5名	2名	1名	3名(現在2名)	7名
委託先		東松島市社協 (生活復興支援センター)					宮城大学	JICA	東松島復興協議会
担当エリア		東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (3地区、矢本東、矢本西、鳴瀬の被災者サポートセンターを拠点)	東松島市内 (中央と3地区のサポートセンターに配置)	東松島市内 (中央サポートセンターに配置)	東松島市内 (中央サポートセンターに配置)	東松島市内 (現在は大曲地区懇談会の支援)	東松島市宮戸市民センターに1名、野蒜市民センターに1名)	東松島市内 (3地区に2名ずつ配置、事務局に1名)
活動内容	仮設住宅	(市内全仮設団地) ・戸別訪問 相談、見守りなど ・福祉コミュニティ形成支援 サロン運営支援など	(市内全仮設団地) ・個別相談への対応 ・訪問支援員のコーディネート ・福祉コミュニティ形成支援 サロン運営支援など ・中央サポートセンターや関係機関との連絡調整	・3地区センターの活動スケジュール調整 ・訪問支援記録の管理 ・ミニコミ誌等の発行 ・災害ボランティアコーディネートなど			・地域包括支援センターや病院(PT・OT)と協働で生活不活発病予防事業を7月から実施。3地区の市民センターを会場に、参加者は仮設住宅入居者・在宅者の制限は設けていない。 ・左記、サロン活動のスタッフとしても併任。	・復興まちづくり計画策定にあたって、住民自治組織、NPO、経済団体、福祉団体などの組織などから参加をしてもらい、東松島市の復興まちづくり計画への思いや考え、意見やアイデアなどを話し合っ て、地域ぐるみのまちづくりに繋げていく。	・住民全体のまちづくり等、地域の事情やニーズに応じて必要なプロジェクトを設定
	みなし仮設								
	在宅			・災害ボランティアコーディネート など	・市内21カ所の集会所等でサロン活動を実施(1カ所月2回程度)。参加者は65歳以上で1会場20名～40名。				
その他 (連携状況等)		※上記の3地区サポートセンターには、それぞれ管理者を配置しています。 (連携体制等) ・民生委員児童委員協議会との連携:みなし仮設入居者の日常的見守り活動を民生委員活動の一環として行うもの(民児協と市、社協で協議進行中)。 ・市保健師との連携:健康・栄養相談会や歯とお口の健康教室の開催に合わせたサロン活動(お茶会など)の実施 ・仮設住宅代表者会議への参加:月1回開催される会議(市が主催)へ市・サポートセンター内職員・復興支援関係者が情報提供・情報共有などを目的に参加 ・復興協議会との連携:NPOや復興支援団体(約30団体)が組織した協議会の定例会議に参加。復旧・復興支援ボランティアの調整などの連携を図っている。 ・市内ボランティア団体との連携:仮設住宅団地内集会所や市内各地域の集会所で開催しているサロン活動への支援を通して連携を図っている。							

最新の状況に更新するため、変更や修正などお気づきの点ありましたら是非ご連絡ください。
みやぎ連携復興センター 担当:三浦 電話:022-748-4550 email: renpuku@gmail.com